

2. 指標設定

成果指標	指標名	米の生産調整の達成率		目標年度	指標の設定理由			
	数値	100			米穀の需給調整実施要領による米の数量配分によるもの			
活動指標	指標	a	座談会の開催		b	c		d
	数値	目標	1回		目標	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
米の生産調整の達成率	%	100.0 %	100.0 %	100.0 %
		100.0 %	100.0 %	100.0 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 座談会の開催	回	1回	1回	1回
		100.0 %	100.0 %	100.0 %
b				
c				
d				

4. 課題と対応

課題
水稲作付目標面積は達成しているが、担い手不足、高齢化により不作付地が増大している。また、水稲作付面積も年々減少傾向にある。
対応（改善点等）
関係機関と連携し、不作付地の解消に向け取組を行う。また、水稲の過剰な生産調整とならないように調整する必要がある。

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

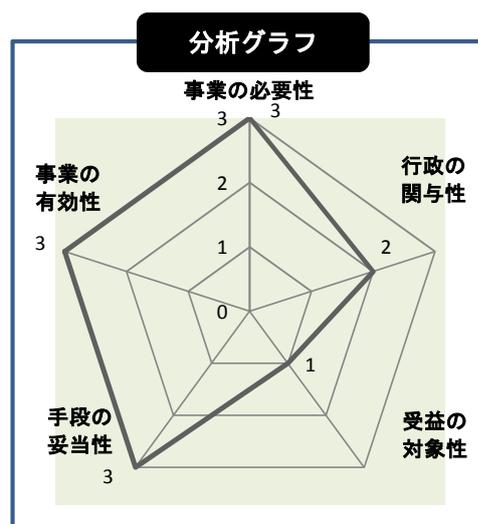
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		3,529	2,989	2,503	19,489
財源内訳	国費				
	県費	3,475	2,939	2,467	15,617
	市債				
	その他				
	一般財源	54	50	36	3,872
うち経常					
事業費に係る人件費		4,245	4,267	4,380	4,300

6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
県単独事業のため減額傾向にある

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 米の価格安定を図る上で重要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 米の数量調整については、行政、JA等が連携して調整べきと考える
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 水田農業者に限る
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 米の価格安定を図るための制度であることを農業者に周知し、所得補償を活用できている
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 生産調整が達成されている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	事業の円滑な推進のため、関係機関との当該業務分担について検討を行うこと